

U.S. Indicators

米国 耐久財受注のモメンタムは再加速(07年5月耐久財受注)

発表日：2007年6月27日（水）

～機械・ソフトウェア投資は4-6月期に加速する公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

耐久財受注 (Advance Report on Durable Goods Manufacturers' Shipments and Orders)

	出荷				受注				在庫			
	耐久財	除く 輸送機器	非国防資本財	除く 輸送機器	耐久財	除く 輸送機器	非国防資本財	除く 輸送機器	耐久財	除く 輸送機器	非国防資本財	除く 輸送機器
05/4Q	+3.5	+3.6	(+8.9)	+2.9	+6.1	+2.8	(+10.1)	+1.9	+2.3	+1.5	+0.2	
06/1Q	+1.1	+2.5	(+8.1)	+2.5	▲1.2	+2.9	(+9.2)	+4.7	+0.9	+2.0	+1.7	
06/2Q	+0.4	+0.8	(+8.5)	+1.1	+1.4	+1.9	(+10.4)	+0.4	+2.5	+2.6	+1.5	
06/3Q	▲0.2	+0.5	(+7.6)	+0.7	+1.9	▲0.1	(+7.7)	+2.5	+2.9	+3.3	+3.2	
06/4Q	▲0.4	▲1.3	(+2.5)	▲0.8	▲1.6	▲1.4	(+3.3)	▲1.5	+1.4	+1.5	+1.8	
07/1Q	▲1.1	▲0.9	(▲0.9)	▲2.9	▲2.5	▲1.6	(▲1.2)	▲4.3	+0.6	+0.1	+0.4	
06/12	+1.6	+0.6	(+1.2)	+0.2	+1.5	+2.6	(+4.4)	+0.9	+0.3	+0.7	+1.2	
07/01	▲1.5	▲0.3	(▲0.1)	▲4.2	▲6.1	▲3.1	(▲1.0)	▲4.4	+0.4	+0.2	+0.5	
07/02	▲1.5	▲1.4	(▲1.9)	+0.6	+0.5	▲0.6	(▲1.0)	▲2.4	+0.1	+0.0	+0.1	
07/03	+1.3	+1.0	(▲0.9)	+1.6	+5.1	+1.6	(▲1.6)	+4.6	+0.1	▲0.1	▲0.3	
07/04	+2.0	+3.4	(+3.3)	+0.9	+1.1	+2.5	(+1.3)	+2.3	+0.4	+0.0	+0.0	
07/05	+0.4	▲0.1	(+1.2)	▲0.2	▲2.8	▲1.0	(▲0.8)	▲3.0	+0.2	+0.1	+0.5	

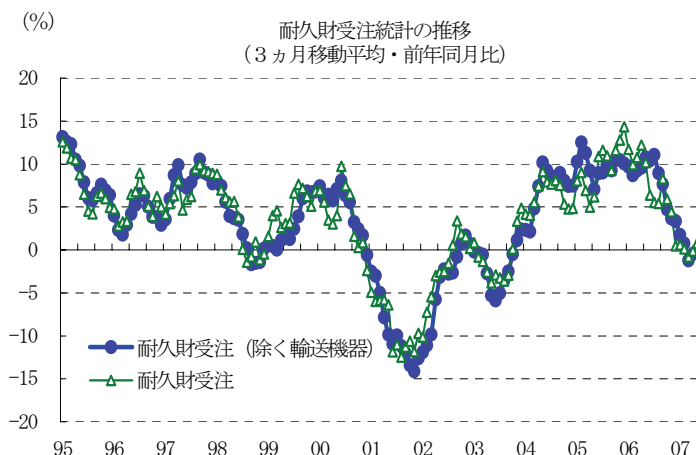
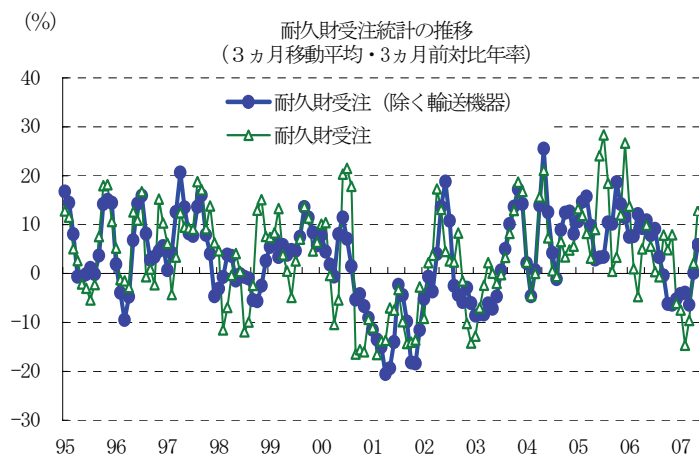
(出所) 商務省

(注) 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。 () 内は季節調整値の前年比。

耐久財受注が前月比▲2.8%、輸送機器を除く耐久財受注は同▲1.0%とともにマイナスとなった

07年5月の耐久財受注は前月比▲2.8%（前月同+1.1%）と4ヵ月ぶりのマイナスとなったうえ、マイナス幅が市場予想の同▲1.0%を上回った。コンピューター・電子製品が増加したものの、それ以外の業種は減少した。しかし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+12.8%（前月+2.2%）とプラス幅を拡大しており耐久財受注のモメンタムは加速している。

5月の輸送機器を除いた耐久財受注は前月比▲1.0%と市場予想の同+0.2%に反し3ヵ月ぶりのマイナスとなった（前月同+2.5%）。もともと、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+5.9%（前月+0.1%）とプラス幅を拡大しており、耐久財受注（除く輸送機器）のモメンタムも加速している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

高水準の受注残を背景に耐久財生産の拡大ペースは今後加速すると見込まれる

耐久財在庫が前月比+0.2%増加したが、耐久財出荷が同+0.4%と在庫の伸びを上回ったため、耐久財在庫率は1.471ヵ月（前月1.486ヵ月）と小幅低下した。さらに、耐久財受注残が同+0.8%（前月同+1.9%）と拡大を続けていることから、耐久財生産の伸びは加速すると予想される。

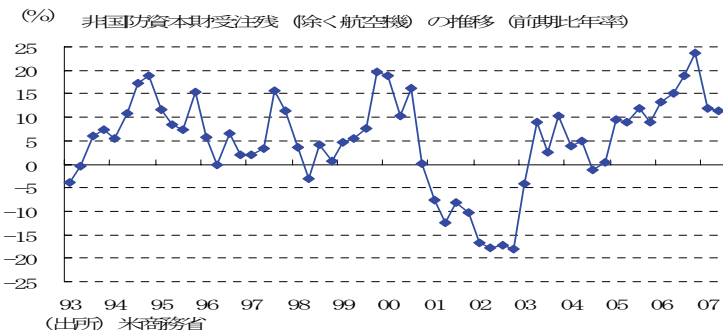
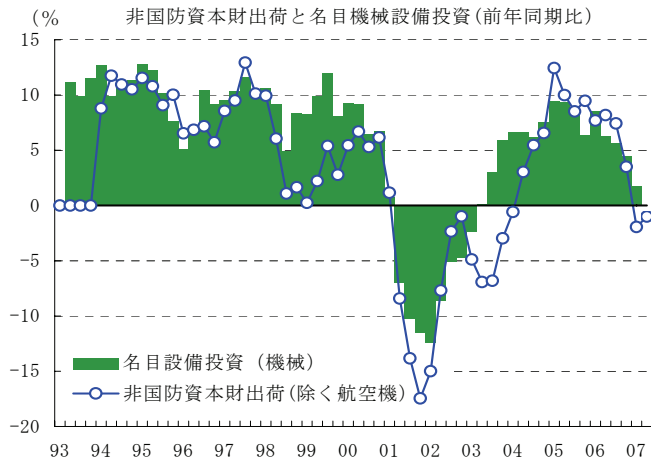
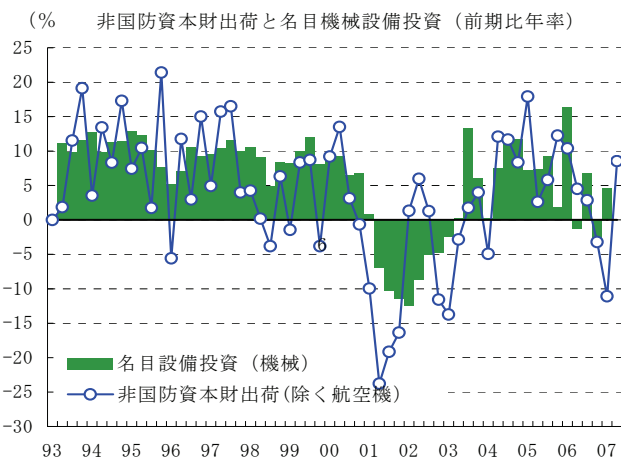
コンピューター・電子製品以外が減少

業種別の受注動向をみると、コンピューター・電子製品が増加した一方、一次金属、加工金属、一般機械、電気機器・同部品、輸送機械が減少した。コンピューター・電子製品では、通信設備が前月比+7.6%（前月同+1.9%）と加速し、コンピューター・同関連製品が同+3.7%（同▲5.8%）とプラスに転じたため、全体でも同+1.8%（同+1.6%）と加速した。輸送機器は前月比▲6.8%（同▲1.8%）とマイナス幅が拡大した。自動車・同部品が同+2.3%（同▲2.8%）とプラスに転じた。一方、ボーイングの受注が減少したことで非国防航空機・同部品が同▲22.7%（同▲11.0%）とマイナス幅を拡大し、国防が同+9.8%（同+18.5%）とプラス幅を縮小した。

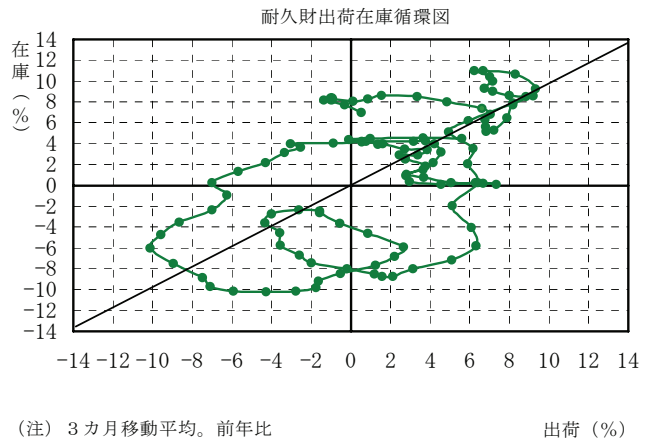
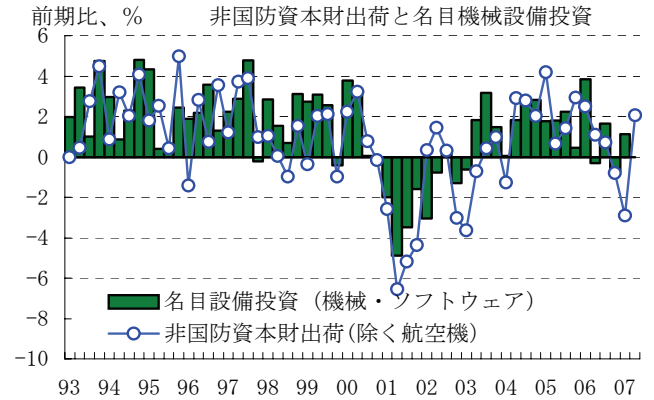
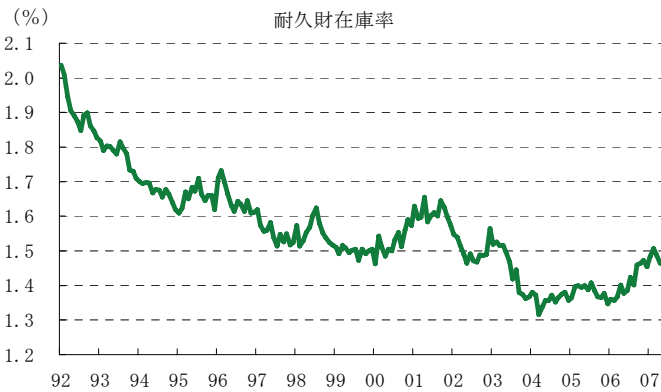
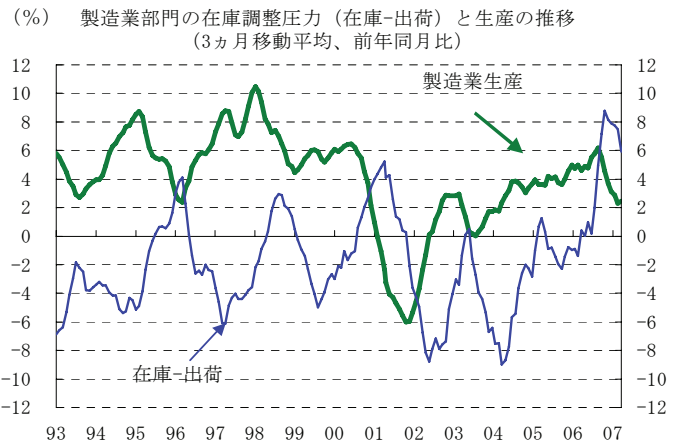
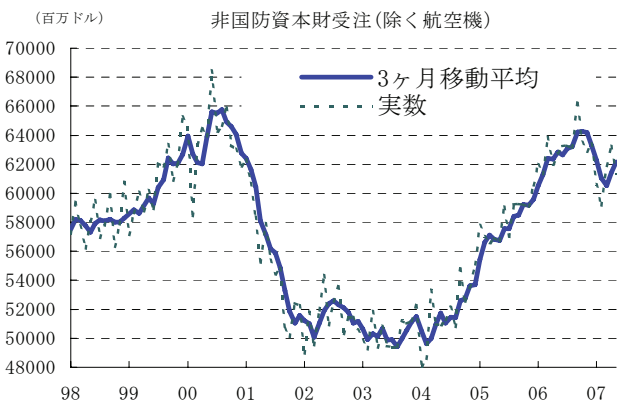
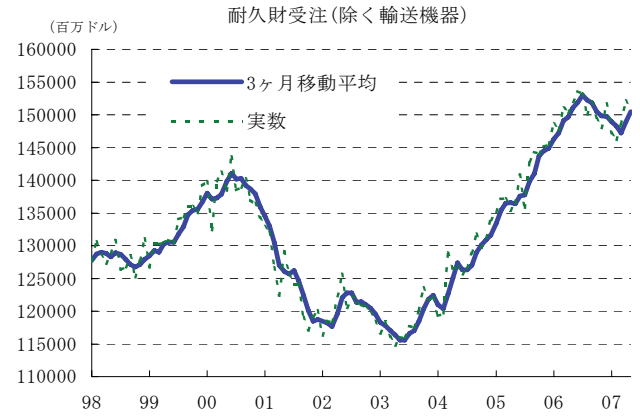
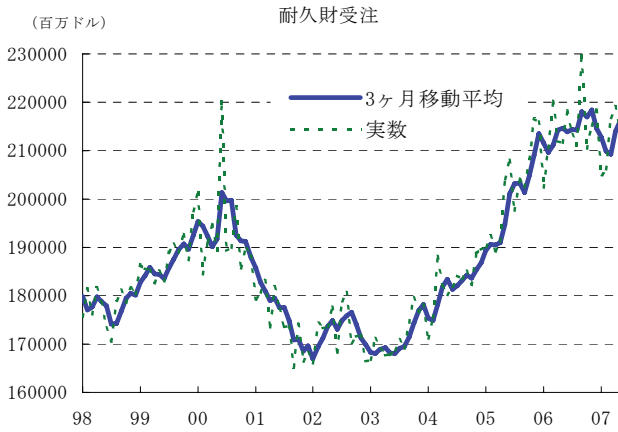
2007年4～6月期の機械・ソフトウェア投資は加速する見込み

設備投資関連では、機械・ソフトウェア投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は5月に前月比▲0.2%（前月同+0.9%）と減少した。しかし、4、5月平均の非国防資本財出荷（除く航空機）は前期比年率+8.5%（1～3月期同▲11.1%）と増加に転じたため、4～6月期の機械・ソフトウェア投資は前期から加速する公算が大きい。

非国防資本財受注（除く航空機）は5月に前月比▲3.0%（前月同+2.3%）と減少したが、4、5月平均では前期比年率+12.3%（1～3月期同▲16.2%）とプラスに転じている。さらに、非国防資本財受注残（除く航空機）は4、5月平均で前期比年率+11.3%（前期同+12.0%）と大幅なプラスを維持しており、7～9月期の機械・ソフトウェア投資は一段と加速すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任を負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。